

# 静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2003. 1. 22

参加者 石浦（科学園）高松（仁美小）倉橋（西大寺南小）福井（伊島小）

3学期の例会が始まりました。年末からずっと風邪気味だった石浦先生もずいぶんお元気になられ洋梨（パスクラサンヌ）とカップケーキを差し入れてくださいました。巷ではインフルエンザが猛威をふるい始めていますが、今年は『タミフル』という特効薬ができて被害が最小限ですみそうだとか。科学技術の進歩がこういう形で感じられるのはいいことですね。

## 【ミラクルフルーツにチョウのさなぎ】 倉橋

植物の写真にチョウのさなぎが写っているのですがお気づきですか？ 見事に擬態していますがど真ん中の葉っぱのようなものがそうです。ところでこの植物はミラクルフルーツと言います。その実を食べると酸っぱい物が甘く感じます。以前高松先生が紹介してくれたギムネマ茶は甘さが感じられなくなる不思議なお茶でしたが、どちらも面白いですね。



## 【竹ごはん】 倉橋

かなり太い竹を1節分切り出し、側面に鋸となたで四角い窓を開ける。中に洗った米3合と水を入れてフタをし火にかける。竹の切り口に水がしみ出てきたら時々中の様子を見て適当な時火からおろす。竹をなたで2つに割ると、中からは香りの良いご飯がでてくるそうです。竹の中の水分のおかげでご飯がコゲつかないので、竹は切ってすぐに使うのがいいそうです。



## 【象のフンからできた紙】 高松

高松先生が知り合いからお借りしたザンビア産の紙。象の糞からできているようですがにおいはありません。福井が子供の頃、馬糞紙という名の厚紙がありましたが、あれは本当に馬糞だったのでしょか？？ ザンビアでは象のフンに火をつけてくすぶらせ、蚊よけとしても使うそうです。



## 【立体に見えるドラゴン】 福井

以前、へこんだ三角錐を手の上に乗せて片目で見ると立体的なサイコロになるペーパークラフトがありましたが、今回ののはその発展型です。ドラゴンの顔の部分がへこんでいて、これを片目で見ると立体的に飛び出してくる、全体を動かすと顔と体が逆に動くというものです。福井の予想では、片目だけで物を見ると脳が自動的に立体の姿に補正してしまうのではないかと考えますが、実際のところはどのようなのでしょうか。



## 【昔のプログラムが復活！】 倉橋

昔、BASICという言語で作った教材などのプログラムがWindowsパソコンでも動かせるそうです。子供に合ったオーダーメイドのソフトが作れます。